

# 矢巾町の公共交通について

～令和元年度県政に関する県と市町村の意見交換会～

令和2年1月14日



# 矢巾町地域公共交通網形成計画 概要 矢巾町

## 矢巾町地域公共交通網形成計画の目的

本町の公共交通網は、町内や盛岡市への通勤・通学や日常生活の足としての役割を担っています。しかし近年、公共交通利用者が減少したことで路線バスが廃止され、公共交通を満足に利用できない町民が増えています。矢巾町コミュニティバス「さわやか号」においても、町民の求める公共交通ではなく利用しにくいことから、利用者が減少しています。

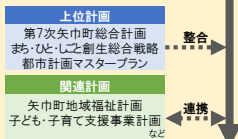
こうした背景を改善するため、平成28年度より矢巾町地域公共交通会議により検討を重ね、平成30年1月に「矢巾町地域公共交通網形成計画」を策定しました。本計画は、「矢巾町の望ましい公共交通のすがた」を明らかにする『公共交通のマスタープラン』となります。本計画に基づき、地域公共交通をより使いやすく、効率的に運行するため、矢巾町・交通事業者・町民が協力し、様々な施策に取り組む必要があり、そのあるべき姿について示しているものです。

## 計画の位置付けと計画期間

本計画は、「矢巾町第7次総合計画」や「矢巾町都市計画マスタープラン」等の上位・関連計画との一体性を確保すると共に、計画期間を平成29～34年度の5年半とし計画を進めていきます。

上位・関連計画	H29	H30	H31	H32	H33	H34
矢巾町第7次総合計画	平成28～35年度（前期基本計画：平成28～31年度）					
矢巾町まちひととし創生総合戦略	平成27～31年度					
矢巾町都市計画マスタープラン	平成16～35年度（現在改定中 平成29年度調査）					
矢巾町内の動き			付属病院 開院			
矢巾町地域公共交通網形成計画	平成29～34年度（計画期間 5年半）					

### 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律



### 矢巾町地域公共交通網形成計画

## 矢巾町の地域公共交通網の特徴と課題

地域特性の整理や公共交通の現状を調査・分析した結果、本町の地域公共交通網には、以下の特徴や課題があることが明らかになりました。

### 地域公共交通網の課題



### 課題1

#### 利用ニーズの変化への対応

- 公共交通を必要とする方に、対応できておらず、改善の要望が多数
- 運転免許を返納できず、高齢者ドライバーの事故発生の危険性あり

### 課題2

#### 農村集落での生活の確保

- 農村集落ではバス利用が不便
- 路線バスの本数が少なく不便

### 課題3

#### 拠点間での公共交通の連携

- 公共交通の乗り継ぎ時間が長い
- バス停に待合環境が未整備

### 課題4

#### 町民協働での公共交通のサポート

- 公共交通が利用されておらず、多額の赤字が発生
- 公共交通の見直しに対する税金の投入は慎重

### 地域公共交通網の特徴

- 南北の交通は、鉄道・路線バスがあり便利
- 矢幅駅利用者は、区画整理事業や大学移転の影響で増加傾向
- 町内に岩手県交通の矢巾営業所があり、路線バスが多数発着
- 盛岡駅方面は鉄道、県庁方面は路線バスが便利
- バス路線の存続のためにバスを利用すべきであるとの意見には大多数が賛成

## 計画の基本方針と目標

地域公共交通の課題を受けて、本町が目指すべき方針を以下の通り設定しました。

### 基本方針1

#### 持続可能な公共交通

公共交通利用者や地区に合わせた、新しい公共交通サービスの提供を検討します。

### 基本方針2

#### 利便性の高い公共交通

運転免許を返納でき、公共交通を使うことで日常生活が送れる移動環境・待合環境づくりを検討します。

### 基本方針3

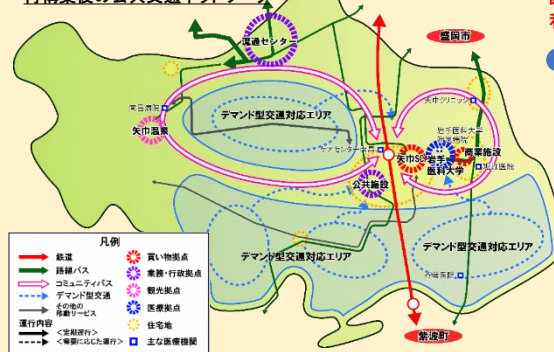
#### まちづくりを誘導する公共交通

利用者と地区とともに公共交通を支えることで、まちづくりに参加できる仕組みや連携方法を検討します。

## 目標を達成するために取り組む施策

### 施策例 持続可能な公共交通の実現

#### 再構築後の公共交通ネットワーク



誰もが公共交通を利用でき、満足度が高く利用し続けられる環境を構築します

### 施策メニュー

- 地域公共交通ネットワークの根本的な見直し
- 新たなコミュニティバスの導入
- 公共交通空白地区の解消に向けた「デマンド型交通」の導入
- デマンド型交通導入時の利用者サポート
- 路線バスの利便性向上について
- 交通事業者と継続的な協議
- 矢巾町地域公共交通会議による公共交通に関する全体運営の実施
- 具体的なネットワーク決定に関する検討
- 利用状況や施策の取り組みに合わせた公共交通ネットワークの随時見直し

## 計画の推進と達成状況の評価

本計画の推進と進捗管理は、矢巾町地域公共交通会議が中心に担い、交通事業者や住民等との間で着実な実施に向けて調整します。また、計画で定めた目標の達成状況等を検証指標で適切に評価します。

PDCAサイクル(Plan:計画⇒Do:実行⇒Check:評価⇒Act:改善)を活用し、定期的な計画の評価・検証、必要に応じて事業の改善を図りながら、計画を推進します。公共交通体系や町内の環境の変化に合わせて、適宜最善策を検討します。

また、施策実施や路線バス・JRとの協議、周辺市町村との連携等、計画期間内に完結しない事業については、計画期間内の早い段階から次期計画や将来構想に必要な目標や施策を検討します。

### 本計画のPDCAサイクル



### 計画期間後を見据えたスケジュール

検討項目	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35以降
矢巾町公共交通網形成計画	計画策定	計画評価	計画評価	計画評価	計画評価	計画評価	次期計画
コミュニティバス							将来構想
デマンド型交通							将来構想
路線バス							将来構想
JR							将来構想

# デマンド交通サービスエリア

矢巾町西側エリア

矢巾町東側エリア

矢幅駅

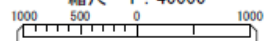
## 【矢幅駅中心市街区域に係る乗降場所】

- ・矢幅駅
- ・商業施設(マックスバリュ等)
- ・医療施設(成田医院等)
- ・学校施設(不来方高校等)
- ・公共施設等(やはばーく等)
- ・矢巾タクシー営業所
- ・自治会指定の乗降箇所等

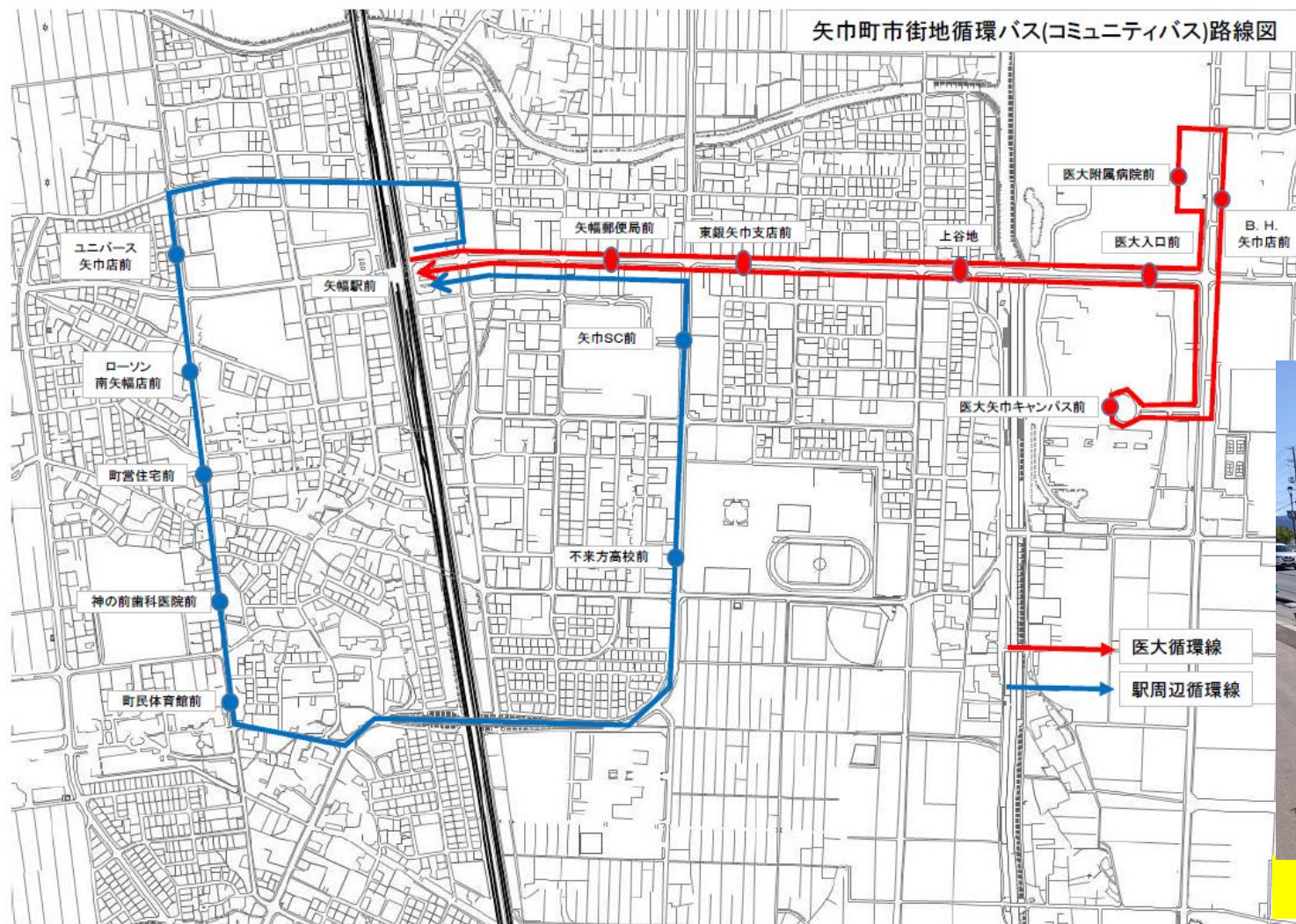
## 【矢巾町東側地区及び西側地区に係る乗降場所】

- ・さわやか号のバス停留所
- ・公民館(各地区)
- ・公共施設等(屯所等)
- ・主要な事業所(矢巾温泉等)
- ・岩手県交通(株)矢巾営業所
- ・自治会指定の乗降箇所等

縮尺 1 : 40000







9月20日から運行開始  
(「バスの日」記念日)



「ひまわり」の停留所